

自分を変えさせてくれた大学4年間

経営情報学部4年 藤山 拓海

2016年4月、順風満帆とは全く言えない状態で、私は入学式を迎え多摩大学に入学をしました。なぜなら、多摩大学の合格通知が届くまでの全ての入試において、不合格通知の連続。良くて、補欠合格でした。もともと大学志望ではなかった私は、高校3年生の夏まで船員になることを夢に国立の短期大学を受験しました。結果は、先ほど述べたように不合格。それから大学受験にシフトしましたが、高校3年間一生懸命に勉強してこなかった私が大学に合格できるはずもなく、最終的に、当時通っていた塾の塾長に連れて行かれた多摩大学に入学しました。

そんな無気力で適当に人生を過ごしてきた私は、「このままではいけない。変わらなければならない。」そう思い、『すぐに行動に移す』ことを大学4年間の目標として定め、沢山のことに挑戦してきました。そんな挑戦できる環境、そのキッカケを与えてくれる環境がこの多摩大学にはありました。

大学1年次、自分の努力は意外にも、すぐに結果として現れました。春学期の成績において首席を取ることができたのです。この事実は4年間の中でも重要な出来事で、私に大きな自信を与え、少しずつ自身に余裕を持てるようになりました。また、大学生活を軌道に乗せる良いスタートダッシュになったと思います。

2年次、私は経営情報学部の事業構想学科と経営情報学科の2学科のうち、よりビジネスや国際関係を学べる事業構想学科を選択。また、ホームゼミでは金美徳先生のゼミナールに所属しました。2年次に受講できる講義の中で、私は寺島実郎学長監修のリレー講座や海外活動英語コミュニケーション、事業構想論の3つが非常に印象的だったのを覚えています。それらの講義では、外部から来て頂いた多様な業界の方々自身の専門やビジネスについての講演を聴講しました。知識不足で講義中に理解しきれない事が多々ありましたが、それを理解するために勉強することは、不思議と苦にはなりません。しかし、何か物足りないものがありました。それは知見です。自分の目で見て知ることが、確実に当時の自分には欠けていました。なので、私は現地ですることが重要だと考え、海外留学することを決心しました。

留学先を決める際、私は2つの条件を設けました。「アジア圏」であること「英語が学べる」ことです。なぜなら、出会った教授たちに『これからはアジアの時代だ。』と言われ続け、アジアに興味を持ったことと英語は世界共通語であるからです。そして、私は留学先をマレーシアに決定しました。日本に馴染みのないイスラム教の国であることや発展途上国であることは、知見を広げるにはとても打って付けの場所だったと思います。

2018年3月初旬、初海外であり、初留学、英語能力も乏しい状態

で私のマレーシア留学はスタートしました。最初の1、2か月はコミュニケーションが取れなくて、本当に苦労した記憶があります。また、衛生状態が悪いため、お腹を壊すこともしばしば。しかし、英語を楽しく学べる環境としては最高であったと云えます。サウジアラビア人の友達がアラビックフードを振舞ってくれたり、逆に私たち日本人が日本食レストランに連れて行くことも。さらに、ラマダン期間や後に世界最高齢の首相となるマハティール氏が勝利したマレーシアでの選挙も留学中に遭遇し、イスラム教徒との関わり合い方や時代の変革を身をもって知ることができました。私にとって、この6か月は人生の中で1番内容の濃く、人との出会いの大切さを知った特別な時間でした。

帰国後は、インターゼミに参加をしました。初めて寺島学長のお話を間近で聞き、圧倒的な知識量の多さや人を惹きつける話術に驚愕しました。また、所属していたアジアダイナミズム班において、宗教の視点からモンゴル帝国の興隆について研究し、毎週文献と睨めっこしながら論文作成を行いました。正直、投げ出しそうになることもありましたが、金先生や水盛涼一先生をはじめとした先生方、大学院生やOBの方々、学部生達の支えがあり、やり遂げられました。アジア班の根底である歴史から学ぶということは勿論のこと、周りに居た現役の優秀な社会人の方々から学べる社会人基礎力は非常に有益でした。

残りの1年間は、就職活動や卒業論文の作成、台湾にて2度目となる留学をしました。どれも最終的には納得のいく結果で終えることができましたが、就職活動については最初の内定が貰えるまで大学生が行う就職活動の型に収まってしまっていたと感じています。「内定」という2文字を追い求めすぎていて本質を見失っていました。これから就職活動を控えている方達には、自分が本当にやりたいことは何なのか、自分に合っている働き方は何なのかを1度立ち止まって考え直してみてください。

過去と現在の私を比較してみて「変わった。」そう思います。自分で考え行動出来る、初めてのことに動じない真面目な人間になりました。そんな成長を感じられる環境が、この多摩大学にはあります。人間初めての事にはどうしても怖気付いてしまいます。しかし、案ずるより産むが易しで、やってみると意外に簡単だった、そんな事ばかりです。まだ時間がある学生の皆さんは4年間で沢山のことに挑戦してみてください。大学生活を豊かなものにしていきましょう！

最後にこの場をお借りして、執筆の機会を与えてくださいました学長室の渡邊陽平様、大変お世話になりました金先生や水盛先生、バトル先生をはじめとした先生方、留学の相談を何度も聞いていただいた学生課の寺山浩子様、私のやりたいことにNOとは言わず、何でも挑戦させてくれた両親に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



アラビックフードを振舞ってもらいました



マレーシアでの日本人会



交換留学先の大学で参加した剣道部



2019年度アジアダイナミズム班

今年度の振り返り

経営情報学部学生会執行部長 3年 田島 凜太郎

今年度、学生会執行部は様々な活動をしてきました。4月には新入生のためにサークル合同説明会を開催しました。多くの部活、公認サークル、準公認サークルに参加をして頂けました。また、多くの新入生が説明会に来てくれました。多摩大学の新入生の自主性の高さを確認できたとても良い機会だと感じました。

また、4月には留学生歓迎会、7月には留学生送別会がありました。異文化交流をするよい機会となり、留学生を多摩大学に快く迎え入れることが出来たと感じました。

夏休みを越えてまた、留学生歓迎会を開催しました。春学期とは違う留学生を迎え入れ、多摩大をよく知ってもらえるような歓迎会を開催出来たと思います。

11月には多摩大学の多摩祭があり、学生会執行部も多摩祭実行委員会と協力をして、多摩祭を盛り上げていきました。多摩祭にも多くのサークルや有志団体などに参加して頂くことが出来て、学生も来場者の方々も満足度の高い多摩祭になったと感じています。

12月には学内の団体と協力をして、クリスマスパーティーを開催しました。プレゼントの交換や弾き語りライブなど楽しい時間を作ることが出来ました。留学生も何人か参加をして下さり、多摩大学の学生の自主性を再確認することが出来たと思っています。

冬休みを越えて2月には留学生送別会で留学生を送り出しました。きっと多摩大学に来てくれた留学生は多摩大学に来たことで多くのことを学び、吸収してくれたと信じています。

この1年は様々なことがありましたが、学生会執行部は多摩大学の学生に寄り添い要望をかなえ、学内を発展することに尽力してきました。学生会執行部の部員も含め多くのことを学ぶことが出来たよい1年だったと感じています。



来年度に向けて

私は執行部長を引退して、来年度から新しい部長や部員が多摩大学の環境を作り上げていくわけですが、自主性に優れ勢いよく飛び込んでいく今年の光景を見ている限り、きっとこの多摩大学は発展を続けることが出来るのだらうと感じています。

SGSでの4年間

グローバルスタディーズ学部4年 鈴木 佑哉

私は英語を使った仕事をしたいという目標があり、多摩大学に入学をしました。大学生活4年間を通して、自身の成長や、就職活動に大きく繋がったと感じる出来事は4つあります。

1つ目はホスピタリティ・マネジメントコースの授業です。語学の授業はもちろんのこと、世界中の宗教や文化などを学ぶことにより、多様な価値観を受け入れられるようになりました。そして、国が違う方達との接する楽しさを知り、アルバイト先も外国人のお客様がよく来られるお店を選びました。学校で学んだ知識を活かして、楽しく接客をしています。また、観光業界や航空業界の授業を受けることにより、やりたい仕事を見つけることができ、目標を明確にすることができました。目標が明確になったおかげで、航空業界が求める人材像を目指して様々な行動することができ、就職活動期間までにしっかりと準備することができました。

2つ目はゼミでの活動です。私は藤沢の地域活性化をテーマとしている、藤沢観光ゼミに所属していました。江の島に来られる外国人観光客に向けて満足度のアンケート調査をすることや、地域活性化プロジェクトをテーマとした他大学とのプレゼンテーション大会出場が主な活動内容です。外国人観光客満足度調査では、自分の大学がある地域の活性化に貢献をしながら、外国人とのインタビューの中で自身の英語力を試すことができ、自身の経験と成長に繋がりました。プレゼンテーション大会では、湘南の特産物によって地域を盛り上げるというテーマで発表をしました。半年間という準備期間の中で、お互いの意見を尊重し合うことによって良いプレゼンテーションを作りあげることができました。私たちは5大学12チーム中、地域の活性化の実現性が高いと評価され優秀賞を取ることができました。私はこの事により、チームで一つの目標に向かって努力する姿勢を学ぶことができました。就職活動での面接でも、ゼミでのエピソードを強みに変えて話すことができたので、とても良かったです。藤沢観光ゼミはとても積極的に活動がある珍しいゼミなので、ゼミ選びで困ってる方にはとてもオススメです。

3つ目はベトナムでのインターンシップです。初めての海外経験

でしたので、仕事面だけでなく、生活面においても苦労が多くありました。仕事内容は主に電話でアポイントを取り、営業に行くということでした。慣れない英語での電話対応に苦労をしました。思うようにいかず挫折もしましたが、自分なりに工夫を重ねた結果、自分で立てた目標をクリアすることが出来ました。このインターンシップを経験したことにより、困難に立ち向かい、自ら考え行動する力がよりつきました。自分自身、大学生活の中で1番成長できた出来事だと感じています。また就職活動の面接の中で1番興味を持ってもらえた出来事です。どこの会社の面接を受けに行っても、他の就活生と話題がかぶることがなく、他の就活生より目立っていたと感じました。

4つ目はエアライン講座での対策です。15回という少ない講座でしたが、得るものはとても多かったです。企業研究の正しい仕方を学んだり、より実戦に近い面接練習をすることにより、航空業界の難易度の高さを再認識し、気を緩めることなく本番まで準備を進めることができました。また、エアライン講座と並行して、キャリア支援講座も受講していました。キャリアで学んだことをすぐにレベルの高いエアライン講座で試せたので、とても良かったです。毎回の授業でたくさんの情報を得る一方、ダメ出しを貰うので心が折れそうになった時もありました。ですが同じ業界を目指す仲間と支え合い、頑張ることができました。航空業界を志望する方は絶対にとっておく必要がある講座だと思います。

私は、この4つの出来事により第一志望である会社に入ることができました。常に高い目標を設定し、チャレンジ精神で何事にも取り組んでいくことが大切だと感じています。大学生活は長いようで短い期間です。私も気がつけば、卒業する時期まで来てしまいました。大学生活を悔いなく終えることができそうです。入学したのが、先生や友達に恵まれたこの大学で良かったとつくづく思います。色々なことに挑戦できるのは、大学生であるうちなので大学の後輩が有意義な時間を過ごしてくれると良いなと思います。私も新しいステージの空港で、学校で学んだ知識や、これまでの経験を活かして頑張ります。空港で見かけた際は、是非声を掛けてください。



ゼミの活動である、他大学とのプレゼンテーション後の写真



ベトナムでのインターンシップの写真

「教職員会社見学会 7」開催

2020年1月29日、7回目となる「教職員会社見学会 7」が開催され、東京都渋谷区のワークスマイルジャパン株式会社へ教職員5名、経営情報学部1年生の4名でお伺いしました。

ワークスマイルジャパン株式会社は、2015年6月に設立され、「仕事、楽しい」を広げる47都道府県ではたらくすべての人に”をモットーに仕事／はたらくというシーンのコミュニケーションにおいて、ITが活用しにくい企業・職場・地域の人が仕事でも使えるビジネス版LINE「LINE WORKS」をお客様へ提供しています。

はじめに、執行役員・法人ビジネス事業部長の福山様から会社概要と目標についてお話しいただき、続いて、LINE WORKSの活用について法人ビジネス事業部・地域創生担当・アーキテクトマネージャの廣瀬様から実際の事例（病院の現場、地方のお祭り等）をもとに地域貢献プロジェクト等のお話を伺うことができました。

多摩大学とワークスマイルジャパン株式会社は、2020年度4月から始まる長島剛ゼミと共同研究を進めることになっており、参加学生は熱心に話を聞いていました。

また、教員からはゼミ活動の中で築いた人脈を可視化していくことを考える良い機会となりましたとの意見がありました。

質疑応答では話が盛り上がり、予定時間を超えての会社見学会となりました。



「ながしまゼミ」主催「多摩大学の学生がプロデュースする賀詞交歓会 2020」開催

2020年4月から始動する本学の経営情報学部 長島剛教授のゼミ第1期生16名が「多摩大学の学生がプロデュースする賀詞交歓会 2020」を開催しました。

多摩市・多摩センターにある「おしごとカフェ キャリア・ママ」を会場とし、企業・行政の方々23名、教職員6名、学生18名の計47名のたくさんの方々に参加しました。

ゼミのテーマである「つなぐ力」を発揮するため、「たくさんの方と交流をすること」と「プロデュース力をつけるためにイベントの企画運営をすること」を目的とし、学生がイベントの企画・運営をしました。

学生による司会、他己紹介、ゼミ紹介、企業紹介、企業からの商品提供があり、会場は終始盛り上がり、たくさんの方と名刺を交換した「ながしまゼミ」の学生達の今後の成長が楽しみです。



他己紹介



ながしまゼミ第1期生